



奈良悠久の都 写真集

横浜鎌倉の四季 のんさん



奈良春日大社一帯は世界遺産に登録されています。春日大社は奈良時代の中心勢力であった、藤原氏の氏神としてできた神社です。春日大社は奈良時代の文化をそのままの姿で伝承しています。春日大社の砂ずりのフジの花は見事です。参照[春日大社花散歩](#)
[奈良春日大社周辺地図](#)



初夏春日大社西回廊を歩くと、清々しい空気に包まれます。朱塗りの回廊と青カエデの緑色の色鮮やかな対比を楽しみながら、西回廊を歩くと奈良時代の貴人になったような気持ちになります。1300年前平城京の貴人達もこの色を楽しんだことでしょう。「青丹によし、奈良の都は・・・」の詩に読まれる青は緑色、丹は朱色を表すそうです。



猿沢の池から望む興福寺五重塔は日本を代表する風景の一つです。奈良時代から、変わらない景色が残されていることは感動的です。猿沢の池には古くから七不思議が残されています。澄まず、濁らず、出ず、入らず・・・悠久の奈良には不思議もいっぱいです。参照[奈良猿沢の池](#)
[猿沢の池周辺地図](#)

東大寺大仏殿と大仏殿を映す鏡池



東大寺は奈良時代を代表する建造物の一つです。東大寺の伽藍の多くは再建されたものです。東大寺大仏殿に近い、鏡池から大仏殿を望むと創建当時の華やかな伽藍が偲べれます。壮大な奈良時代の夢が鏡池に映ります。

[大仏殿周辺地図](#)



東大寺二月堂は奈良盆地を望む若草山の山麓に建っています。東大寺二月堂からの奈良盆地の眺めは素晴らしいです。奈良駅前の建築物を除くと、ここからの景色は奈良時代からあまり変わっていないように見えます。奈良の春は二月堂で行われる修二会（お水取り）から始まります。修二会（お水取り）の行事には、遠く若狭の国からもたらされたとされる、お香水が使われます。水と火の勇猛な行事は異国の行事を感じさせます。参照[若狭街道花散歩](#)
[二月堂周辺地図](#)



奈良公園の鹿は人を恐れませんが、奈良時代から奈良の鹿は神の使い、神鹿として大切にされてきました。奈良公園で日陰で昼寝をする鹿を眺めたり、鹿と戯れるのも良いですね。



今年奈良平城宮は遷都1300年を迎えました。平城遷都1300年を記念して、平城宮大極殿が再建され公開されています。1300年前奈良平城宮には、大極殿をはじめ壮大な建築物が立ち並んでいました。古の奈良の都を髣髴とさせます。参照[平城宮大極殿](#)
[平城宮大極殿周辺地図](#)



平城宮は1300年前に中国の王宮を模して造られました。王宮の南の都大路から王宮へ至る大切な門を朱雀門といました。朱雀とは中国の伝説上の四神、五獣の一つです。平城宮の南を守る朱雀門は奈良時代でも大切な働きをしていたようです。平城宮の朱雀門は平城遷都1300年を記念して復元されました。当時の平城宮朱雀門、巨大な建築物だったのですね。参照[平城宮朱雀門](#)

[平城宮跡朱雀門周辺地図](#)



1300年前平城宮の護衛は衛士と呼ばれる、各地域から集められた兵士が行いました。衛士は中央の警護にあたり、防人は九州に送られました。当時の衛士や防人の詩も、万葉集に残されています。今年には平城宮跡で、衛士隊の交代の儀式が行われています。



奈良平城宮東院庭園跡は平城宮の東のはずれにあります。平城宮跡地は現在発掘中ですが、平城宮でも重要な位置を占める東院庭園が、発掘復元され現在公開中です。東院庭園は池を廻る、回遊式の庭園になっています。東院庭園には季節の花が咲き、奈良時代の平城宮での生活を偲ぶことができます。[平城宮東院庭園](#)
[平城宮跡東院庭園周辺地図](#)



初夏平城宮東院庭園跡を歩くと、ショウブとキショウブの花が咲いていました。これらの植物は発掘された植物の種子や花粉から、科学的根拠で再現されたものです。奈良時代に造られた東院庭園は、平安時代の庭園の原型になっていることを教えてくれます。



東院庭園跡に東院庭園展示室があります。東院庭園展示室には東院庭園から発掘された蓮華文軒丸瓦も展示されています。色は鮮やかな緑色で、当時詩によまれた「あおによし・・・」の青の色ではないかと考えられています。また蓮華文軒丸瓦は大陸で見られる様式と同じで、当時の大陸文化との関連が推測されます。



奈良平城宮の西には西ノ京（西の京）と呼ばれる地域があります。西の京には鑑真縁の、唐招提寺や薬師寺などの名刹が並んでいます。静かな西ノ京、歴史の道を歩くと「古の奈良」を偲ぶことができます。大池から西ノ京を望むと薬師寺の東西の五重塔を見ることができます。

[奈良市大池周辺地図](#)



奈良西ノ京にある薬師寺は世界遺産にも登録されています。薬師寺では白鳳文化時代の傑作である薬師三尊像をはじめ、天平、奈良、平安、鎌倉など各時代の素晴らしい仏像や美術品を見ることができます。参照[西の京歴史の道花散歩](#)
[薬師寺周辺地図](#)



奈良西ノ京薬師寺の北に、唐招提寺があります。唐招提寺の開基は鑑真です。鑑真は中国唐代の名僧で、日本に招待されましたが、嵐で5回の渡航に失敗の末6度目に渡航に成功し唐招提寺を開基しました。当時の旅が大変であったことが分かります。唐招提寺の境内には国宝の金堂をはじめ、素晴らしい伽藍の建築物や仏像があります。

[唐招提寺周辺地図](#)



奈良西ノ京にある唐招提寺を散歩していると、古い土塼に出会いました。割れた瓦や土砂を再利用して造ったものようです。昔の人は様々なものをリサイクルしていたのでしょう。中には創建当時の瓦なども混じっているそうです。考古学上、古い土塼は宝の山かもしれません。



奈良の歴史散歩に便利な近鉄奈良駅に行ってきました。近鉄奈良駅には万葉集の詩と写真が描かれた列車が止まっていました。列車でゆっくり奈良の都を旅するのも良いですね。

[近鉄奈良駅周辺地図](#)



奈良斑鳩にある法隆寺五重塔は日本初の世界遺産登録指定文化財として知られています。西院伽藍にある五重塔などの建造物は木造として現存する世界最古のものといわれています。

[法隆寺周辺地図](#)



奈良斑鳩法隆寺にある、飛鳥時代に創られた中門はとても古いものです。中門の力士像は奈良時代のもので、鎌倉時代の力士像に匹敵する力強さを持っています。鎌倉時代の力士像は、これらの力士像を模して作られているようです。参照[斑鳩法隆寺花散歩](#)



斑鳩法隆寺にある飛鳥時代の回廊は必見です。重厚な飛鳥時代の建造物は見事です。回廊はエンタシスの丸みを帯びています。ギリシャ建築風のエンタシスの柱を見ると、奈良斑鳩のこの地でも古代国際的な交流が行われていたことを、知らせてくれます。



新緑の頃、奈良斑鳩法隆寺の境内を散歩していると、カエデの赤い実ができていました。古の人々も新緑のころの美しい緑と鮮やかな赤い実を楽しんだことでしょう。



奈良斑鳩には聖徳太子縁の寺が、いくつかあります。法輪寺もその一つです。法輪寺は斑鳩ののどかな田園風景の中に建っています。法輪寺近くには柿ノ木がありました。

[法輪寺周辺地図](#)



奈良県明日香村にある飛鳥寺は法興寺として、蘇我馬子によって開基されました。創建当時は南北290m、東西200m～250mあったと言われる大伽藍が広がっていました。現在の飛鳥寺は、山門も質素で本堂も余り大きいものではありません。しかし本堂にある飛鳥大仏・銅造釈迦如来坐像を見ると、当時の飛鳥寺（法興寺）の威光を感じることができます。参照[飛鳥寺花散歩](#)
[飛鳥寺周辺地図](#)



現在では飛鳥寺（法興寺）の回りには田園風景が広がっています。飛鳥寺の本堂裏の畑にはキクの花がきれいに咲いていました。飛鳥寺境内からは甘樫の丘や天の香具山を望むことができます。ここは飛鳥時代の政治、文化の中心地でした。

[天の香具山周辺地図](#)



明日香村飛鳥歴史公園には高松塚古墳があります。今では静かなこの付近が、日本文化の中心地でした。多くの万葉集の詩もここで詠まれています。参照[飛鳥・明日香花散歩](#)
[飛鳥歴史公園周辺地図](#)



高松塚古墳地区から1.5Kmほど離れた小高い丘に石舞台古墳があります。近づくと思っていたより巨大な建造物であることがわかりました。資料によると石舞台は30個の岩でできていて、総重量2300トンもあるそうです。石舞台古墳は蘇我入鹿の墓であるといわれています。

[石舞台古墳周辺地図](#)



奈良初瀬街道沿いに長谷寺はあります。創建は686年と古く、万葉集にも唄われています。本尊の十一面観音菩薩をはじめ、多くの文化財を有しています。また花の寺としても知られています。四季の花を楽しみながら、長谷寺の登廊を登って行くのも楽しみです。参照[長谷寺散歩](#)
[長谷寺周辺地図](#)



長谷寺では冬と春の連休の頃の年2回、牡丹が楽しめます。寒い冬にも雪や霜に負けないように藁の帽子をかぶっています。寒い冬でも咲くその姿に心をうたれます。寒牡丹は1月中、春は4月下旬から5月始めまで楽しむことができます。4月中旬から下旬頃にも、ボタンを楽しむことができるのは、嬉しいですね。その他の季節も季節の花が絶えることはありません。



奈良県葛城市にある當麻寺は二上山の麓にある花のきれいなお寺です。境内には三重塔が東西に林立しています。當麻寺奥院から眺めると見事な配置を眺めることができます。4月下旬ボタン・牡丹が咲く頃は牡丹の見事な大輪の花を眺めることができます。[奈良當麻寺花散歩](#)



当麻寺境内には東西に国宝の三重塔が並んでいます。創建は定かではありませんが、金堂に安置される本尊の塑像弥勒菩薩坐像（国宝）や乾漆四天王像（重要文化財）を見ると、奈良時代以前の飛鳥時代創建と考えられます。当麻寺・當麻寺で有名なのは當麻曼荼羅で秘宝です。當麻曼荼羅にまつわる中将姫説は多くの人の心を捕らえ、能、歌舞伎、浄瑠璃、演劇などのテーマとなっています。



山の辺の道は大和古道の一つで、奈良盆地の山麓沿いにあります。のどかな田園風景が広がりますが、道のあちこちに陵墓や古墳が見られます。山の辺の道沿いにある、景行天皇陵墓から三輪山が望めます。この付近が大和朝廷発祥の地と考えられています。山の辺の道を歩くと三輪山をはじめとする山々の自然と、そこから流れ出る水がこの地を潤していたことがわかります。

[山の辺の道景行天皇陵墓付近地図](#)



山の辺の道を歩いていると、三輪山の山麓に大神神社の社殿がありました。大神神社の神体は三輪山です。古代の人や大和の人々は社殿より、三輪山の自然そのものを神として崇めていたようです。

[山の辺の道大神神社周辺地図](#)



橿原神宮は畝傍山の山麓にある神社です。畝傍山は大和平野に並ぶ大和三山の一つです。橿原神宮の脇には深田池があります。この付近には、藤原京がありました。現在平城宮が注目されていますが、藤原京は日本最古で最大の城都でした。深田池に立つと大和三山の畝傍山、耳成山、天の香具山の自然と、水が藤原京をはじめとする、この地を育んだことを知らせてくれます。また万葉集を読むと、人々がどれほどこれらの山々を大切にしていたかを教えてくれます。[橿原神宮周辺地図](#)



奈良市ならまちにある、元興寺は日本最古の仏教寺院法興寺（飛鳥寺）が、平城宮建立に伴い飛鳥（明日香）から移転してできた寺です。訪れる人も少ない元興寺は、世界遺産に登録されています。残された巨大な礎石が当時の繁栄を忍ばせます。参照[奈良市ならまち花散歩](#)
[元興寺周辺地図](#)



法華寺は平城宮東院庭園跡のすぐ近くにある寺です。開基は光明皇后で総国分尼寺として建立されました。十一面観音立像をはじめ、多くの文化財が所蔵されています。

[奈良市法華寺](#)



大乘院庭園は奈良ホテルの下に見える、復元された庭園です。創建は1087年で、後に銀閣寺庭園を手がけた善阿弥が改造した庭園です。素晴らしい庭園なので、寄ってみるのも良いですね。
[参照大乘院庭園花散歩](#)
[奈良市高畑周辺地図](#)



晩秋の奈良も素晴らしいです。奈良公園のイチョウやカエデも色づいてきました。人気の少ない奈良公園で、シカが草を食みます。遠くに若草山が見えます。参照[奈良公園花散歩](#)
[奈良公園周辺地図](#)



奈良公園にある興福寺南円堂近くに初夏フジの花が咲いていました。広大な奈良公園を、季節の花を楽しみながら歩くのも良いですね。[興福寺南円堂周辺地図](#)

あとがき

写真集「奈良悠久の都写真集」を最後まで見ていただき、感謝いたします。「奈良悠久の都写真集」を満足いただけたでしょうか？もしお気に入りの写真などありましたら、各ページにあるお気に入りに登録☆（パブユーザー登録でできます）を押していただけると幸いです。ご意見、感想などもいただけると、今後の編集の参考にもなり、ありがたいです。ご意見、感想などは各ページのコメント欄に記入下さい。

よろしかったらこの本の著者[のんさん](#)のその他の本もご覧になってください。